

Japanese Duvet and Cushion Making 寝具

日本の伝統寝具の製作技術を後世に伝えるために！ 競う

我が国でもめん綿の入った「ふとん」が庶民に使われるようになったのは、江戸時代からです。明治以降、産業の発展と共に誰でもふとんで寝ることが出来るようになったのです。一日の疲れを癒やし、明日への活力を生む睡眠には欠かせない寝具を高度な技術で仕上げます。

競技概要

「掛けふとん」、「敷きふとん」、「円形座ぶとん」、「角座ぶとん」の4種類のふとんを手作業で製作します。
綿止め等の寸法は、競技当日発表されます。

前回大会金メダリストからメッセージ！

[所属：布国屋しばた]



第32回競技課題

Point

出来上がった4種類のふとんを、外観・綿の入れ方・仕上げ方など1課題について規定の採点項目で評価して得点を集計します。出来上がったそれぞれのふとんは、仕上がりの良いふとんほど機能美を感じることが出来ます。特にふとんの角は職人の腕が表れています。



柴田 洋秀さん

コツコツと手仕事で仕上げていくものもまだまだ必要ですので、若い人たちにも頑張ってもらいたいと思います！